



秋田県五城目町

みんなの町議会



目次

- 3月定例会の経過 2～3
- 常任委員会の焦点 4～5
- 一般質問に6名登壇 6～11
- 請願・陳情 12
- あれ なんとになったべが！ 13
- 励ましの人・がんばってます 14

No.114

2013年5月1日

湖東総合病院 安全祈願祭

総合発展計画のさらなる推進へ

当初
予算

51億5千400万円

【前年度比】2.4%増

3月 定例会

議会の経過

3月定例会は3月7日から14日までの8日間の日程で開かれた。

一般質問は6人が登壇し、除雪の課題、3期目の施政について、部活動による体罰、湖東病院の医師確保と救急医療、公共建築物更新問題、選挙公約の実現についてなどの質問をした。

提出案件は平成25年度一般、特別各会計当初予算案、平成24年度一般会計補正予算案、地域活性化支援センター設置条例案など48件。

渡邊町長は施政説明で、『総合発展計画を柱に、健全な行財政運営や協働のまちづくり事業などを推進し「地域医療対策」「雇用・企業立地対策」「安全安心対策」「子ども・少子化対策」「集落対策」「定住対策」などを重点に進め、教育・産業経済の振興や福祉の充実など各種事業に積極的に取り組む』と述べた。

各常任委員会の審査を行い最終日は各委員長報告の後、全議案を全会一致で可決した。

陳情は1件を採択、1件を不採択、2件を継続審査とした。委員会議案提出議案の「最低賃金の大幅引き上げと中小零細企業支援の拡充を求める意見書案」1件を可決した。



秋田県後期高齢者医療広域連合

議会議員の選挙については、議長の指名推薦により、渡邊彦兵衛町長を選出して閉会した。

平成24年度

一般会計補正予算案

平成24年度一般会計補正予算案は実績見込みに伴って1億2,189万円を減額。専決処分した除雪費など1億10万円と合わせて累計53億2,574万円。

平成25年度の

主な予算

- 地域活性化支援センター費 2,810万円
- 国民文化祭準備事業費 370万円
- 地方道路整備事業費 1億3,854万円
- 公園整備事業費 3,130万円
- 救急車購入費 3,623万円

議長不信任決議案を否決

澤田石亀雄議員ら3名から小林議長に対する不信任決議案が提出された。

澤田石議員は提案理由として、2月の町長選挙の際、当選祝辞で述べた小林議長の発言内容は、その場に居合わせなかった議員に対して著しく配慮を欠いた言葉であり、看過できないとして不信任案を提出した。

不信任決議案に賛成の討論

館岡 隆 議員

議会と当局は、常に一歩離れ二歩離れずという原理原則があり、対立構造にある議会と当局はあまり近づきすぎでは、チェック機能を果たせなくなる。

問題となった新聞報道の議長発言は、行政と議会は一体と言いつつ、町長に近づきすぎた8名の議員以外をないがしろにした重大発言である。

討論終結後、ただちに起立による採決となった。

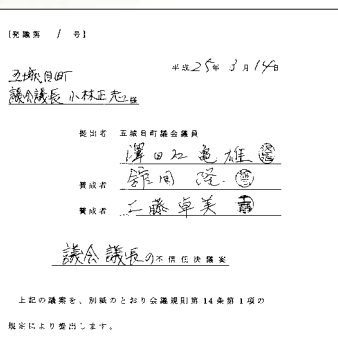
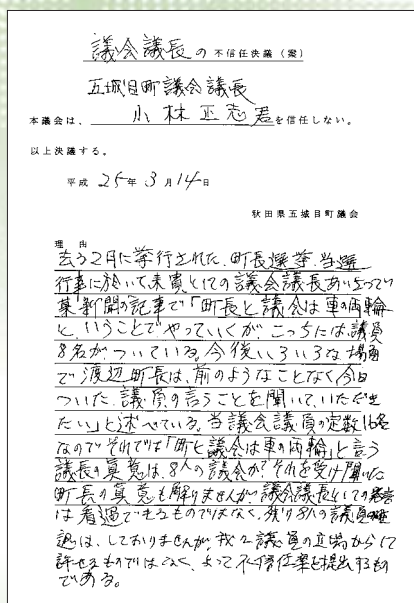
不信任決議案に賛成の議員

澤田石亀雄・工藤 卓美
館岡 隆・畑澤 洋子
石井 光雅

不信任決議案に反対の議員

佐藤 成孝・石川 交三
千田 峯夫・荒川 正己
佐藤 重信・伊藤 正春
佐藤 慶彦・齋藤 晋
佐々木仁茂

不信任決議案は賛成5、反対9（定数16、議長退席、副議長を除く）で否決と決した。



伊藤前教育長 退任あいさつ

平成18年9月教育長に就任以来6年半務めさせて頂いたいただきました。この6年半という年月をどう感じるかはともかく、私にとって非常に充実した濃密な時間を過ごすことができましたことは確かなことであります。

町民待望の五城目第一中学校の改築事業に関わることができた一方で、内川小学校、馬場目小学校を閉校せざるを得なかったことは、教育者として断腸の思いでありました。

教育行政には全く素人の私でしたが、どうか今日まで務めることができたのは、議員の皆様のご指導、町長はじめ町職員の皆様のご協力、町民の方々のご支援のおかげと心から感謝申し上げます。

教育委員会委員の任命に同意

伊藤恵朗教育長が3月末で辞任することに伴い、教育委員に小松正孝氏を任命する人事案に同意した。



小松 正孝氏

五城目町上樋口字堂社27番地
昭和28年2月21日生（60歳）

「はじめまして」

教育長 小松 正孝

私は、工業、商業、農業、水産を学ぶ高校、総合学科の高校、普通高校、進学校などに37年間勤務しました。中高一貫校で中学校の授業や研究

今後は一町民として、いろいろな形でお手伝いできればと考えております。

終わりにりましたが、皆様のご健勝と益々のご活躍、五城目町の発展をお祈り申し上げます。まことにありがとうございます。

も経験しました。特別支援学校の小学部と寄宿舎担当で、毎日小学1年生と給食を食べ、6年生の修学旅行を2回引率しました。今年1月には9日間の日程で、日欧文化交流学院の短期留学生として、生徒と一緒に海外の福祉施設や学校を視察できました。これらの経験を生かし、地元に関わり貢献できるよう精一杯取り組んでまいります。

（佐々木仁茂）

救急車を1台増車し 2台体制へ

教育民生 常任委員会



平成15年度に導入された現在の救急車

平成25年度当初予算で救急車1台を増車するため3,623万円が計上された。現在は平成15年度に導入配備した高規格救急車1台で対応しており、秋田市へ急病人を搬送の間は湖東消防に救急車の出動を応援要請している。そのため新たに1台を追加配備し2台体制になることにより迅速な対応が可能となる。

湖東総合病院の救急体制が再構築された場合については今後検討する。

総務 常任委員会

五城目町地域活性化 支援センター設置



利活用される旧馬場目小学校

旧馬場目小学校・保育園を有効活用することを目的に五城目町地域活性化支援センターを設置する。

委員 全施設を一企業に使用してもらえよう一層の企業誘致に努力してほしい。建物の保険はどうなるのか。事業支援室は面積割合からすると倍くらいの部屋もあるが使用料はどうなるのか。

当局 建物の保険はこれまで学校・保育園として使用していたのと同額である。使用料については部屋の面積ではなく部屋単位の使用料となっている。

委員 国庫補助金などの関係はどうなるのか。

当局 使用料を徴収して施設を利活用するので補助金の返

還はない。

委員 公募の方法は。

当局 地元町内への説明会は6月頃開催する。県外については日本立地センターの力を借りながら進めていく。5月上旬からホームページなどで公募する。又、随時企業訪問してPRする。

委員 初年度企業誘致の目標は。

当局 11部屋あるので、まず半分を埋めるつもりで頑張る。

皇太子殿下行啓 記念碑を変更

皇太子殿下が当町を行啓されたことにより記念碑建立の予算が計上された。

委員 すでに天皇、皇后両陛下の記念碑があり、皇太子殿下の記念碑は必要か。今回は皇太子殿下が立ち寄っただけで本町がイベントの主会場でない。町民の税金を使つてまで記念碑を立てるのは今の時代にそぐわない。

副町長 これまで皇族方の来町があり、それを調査の上、皇室と本町との歴史がわかるようなものを形にして後世に残したい。

(石井 光雅)

救急救命士養成で 研修所へ派遣

救急救命士は25年3月末で9名在籍しているが、50代が3名在籍しており、今後を見据え消防職員の世代間バランスを保つため新たな救急救命士の養成が急務となっている。そのため救急救命東京研修所へ平成25年9月から3月まで1名の職員派遣を予定している。

県の消防学校に2名を6ヶ月間派遣の予定。研修に係る予算として387万円が計上され、消防職員の資質の向上に努める。



救急救命士の養成が急務



もっと使いやすい除雪支援を

高齢者世帯 除雪支援は 25年度も実施

町では、65歳以上の高齢者世帯の除雪支援をシルバー人材センターに委託している。24年度は69世帯が登録し、359万円の予算のうち27万円が利用された。

25年度当初予算に24年度と同額の359万円が計上された。委員からは「24年度は10%弱の低い利用率であり、25年度は使い勝手のよい制度となるようにすべき」と指摘した。
(佐藤 慶彦)

委員会 焦点

下水道、農集排事業の不納欠損で 町長の出席を求めた

24年度中に時効を迎える18年度までの976万6,700円の不納欠損の取り扱いについて、集中審査をした。

委員 町民に町政に対する不信感がある。町長に監督責任はないか。

町長 昨年12月下旬に全職員を集め関係法令に遵守した処理をするように指示した。他町では、返す時に加算金を加えたものであり、それと比べ当町は町民に不利益を与えていない。ただ道義的な責任を感じている。今後は、職員の指導とチェック体制に最善の努力をする。

除雪費昨年度 より更に増額

2年連続除雪費が1億円を超えて、財政負担は深刻である。

委員 専決処分3件で1億円の補正がなされたが、経費の圧縮、ロータリー車導入など除雪体系の見直し、除排雪の事故防止対策、間口除雪の苦情対策、業者の指導などどのようにするのか。

当局 ロータリー車の購入とオペレーターの増員は費用の問題がある。事故防止策として、排雪に関して職員を配置して事故防止に努める。

今後は、徹底した事故防止策と町民の納得のいく除雪体制が急務である。



廃止された農集排施設

農業体質強化基 盤整備促進事業 25年度まで

国の経済対策として、水田の畦畔除去と暗渠排水に対する補助事業がスタートした。

委員 繰越明許費と併せて1億2,000万円の事業だが、春作業では資材調達など無理があり年度内完成でよいのか、申請書の作成、補助金交付はいつになるのか。

当局 申請に基づき24年度と25年度の2ヶ年にわたり事業を実施する。暗渠は、資材調達が困難と思われるので秋実施でもよい。25年度の支払いは未定である。
(佐々木仁茂)

一般質問

平成24年度除雪費総額 1億2,954万2,700円



斎藤 晋
(21期会)

除雪を問う

齋藤 2月2日午前8時40分頃発生した除雪作業事故の詳細は。

町長 町道希広線にて、圧雪を処理するため前進・後退を繰り返しながら作業していたところ、近くにいた女性と接触し、けがを負わせた。秋田赤十字病院に搬送され、骨盤骨折で3ヶ月の重傷と診断され、緊急手術をした。緊急手術の術後経過は良好と伺っている。

齋藤 除雪路線に対する業者選定の偏りについて、偏りを無くすために町としてどういう方策が有るか。

町長 偏りをなくすための方策について、一社に集中していることは事実であり、その大きな要因は新規参入がない

ためであり、一社への集中を解消する手段としては、新規参入する業者が現れることだ。

齋藤 一業者が町の除雪総延長の48%（23年度実績）を占め、除雪費の支払いは全体の54%（23年度実績）を一業者が占めている。

これは独占であり、改善の余地があると思うがどうか。

町長 車道及び歩道と町道外生活道路などを合わせ429路線、約14.4kmと、学校施設など30の施設の駐車場や通路などの除雪を8業者に委託している。

建設課長 平成24年度の除雪路線の割合は23年度と同じであり、除雪費の総額に対する割合は一番多い業者で全体の57%（2月末現在）である。

齋藤 豪雪で歩道除雪がされないために危険な車道を通学した小学校児童は何人いたのか。

教育長 現在、五城目小学校に在籍する児童数は315名で、徒歩で通学する児童数は216名。このうち、通学に支障をきたした児童数は、上町通りを通過する60名と五城目小学校より報告を受けている。

齋藤 児童のため町民のため、安全に暮らせるよう対応すべきだ。

ボランティアとは

齋藤 町ではボランティアをどのように捉えているのか。定義は。

町長 一般的には、自主性・非営利性・社会性・先駆性がボランティアの4原則と言われている。

齋藤 ボランティアの取り組みを報道で見ると、ボランティアに対する代償を提示している市町村もある。他の市町村の実体は。

町長 登録団体が13団体あり、登録者も221人。他に「ふるさと手作りCM大賞」2年連続「最優秀賞」の「プロジェクトG」・小学生の登下校の安全を支えている「見守り隊」・環境美化に取組んでいる町内会や老人クラブ・ボーイスカウトやロータリークラブなどもボランティアである。

「有償ボランティア」という言葉を耳にする。これはかかる経費の実費部分の交通費や食事代は出してもいいのではという考え方で、ボランティア保険などへの加入を義務付けている例もある。

齋藤 ボランティアに対して喜んで進んで参加するよう金銭での代償だけではなく、10

回ボランティアに参加すれば町長から感謝状が送られるとか、無償の奉仕の心を大事にしながらも感謝の気持ちを表す方策が必要と思われる。老人世帯や独居老人が増加し近所の方々の世話が必要不可欠になっている時代、生きがい・やりがいを持ってボランティアに参加できる施策を考えてもらいたい。



募金活動のボランティア

その他に
○除雪事故の補償について

○除雪事故の防止策及び徹底について

○除雪の苦情件数・処理について

○五城目の津波被害想定について

○危機管理マニュアルについて

質問しました。

渡邊町政3期目に臨んで問う

一般質問

町長

種を蒔き花を咲かせ 実がなる町政を



澤田石亀雄
(新世紀クラブ)

協働のまちづくりを問う

澤田石 ● 過去8年間の渡邊

町政に対する町民からの評価として必ずしも全面的な評価には至っておらない。

● 町のかじとりとして「リーダーシップ」に欠けている。

● それを監視する「議会」も「だまって」やらせている議員も議員だ。町民の声からしても、町政はなれ、政治はなれになっている。「協働のまちづくり」のタイトルも一人歩きである。

町長 ● 協働のまちづくりで

種を蒔き、花を咲かせ、実のなるように頑張っている。

● 総合発展計画に基づき、町民と地域で役割りを分担しながら更なる充実を図っている。

● 協働のまちづくりを提唱して以来、国、県の支援制度の活用、団体などの事後の継続

的活動と町内に於ける町民の活動が更に活発になるよう対応してまいりたい。

農林業行政の在り方

澤田石 ● 国、県との連携は、

町農産再生協議会について。

町長 ● 国、県の支援体制の

情報を的確に把握しながら連携した支援体制をしていきたい。

● 協議会は、水田農業全般にわたる振興策を図ることを目的

とした組織であり、制度改正や事業実施方針など農業者への情報発信を密に行ない、制度加入による交付金確保対策や適正な組織の運営に努める。

企業誘致を問う

澤田石 ● 企業立地1億円基

金条例運用は。

● 従来の発想を超えた大胆な発想、町外、大企業の誘致よりも、地元、町内の意欲ある

企業感覚を持った組織、団体法人などの支援対策を。

● 地産地消、農林産物の栽培から、加工販売までの一貫した6次産業化を。

● 特に地域活性化策では、農林業部門に於いては、国、県

との連携の重要性あり。

町長 ● 新しいビジネスモデルの構築に支援する6次産業

化支援対策を計上して県と同様にその推進をする。

● 町全体としての地域ブランド戦略と結びつけた魅力ある立地環境づくりをしていきたい。

町長施政説明に 関連して

澤田石 1月4日の消防出初

式への各課室長の出欠の在り方。

町長 消防団員の士気高揚の

ため口答で確認している。14人中8人出席。

澤田石 8人と言うが関係課長、消防長除くと6人である。もっと認識を高めよ。

除排雪の体制

澤田石 事故があつてからで

は遅い。対応したと言つても業者への注意のみ。状況によつて、オペレーターだけでなく2人体制にしたらどうか。

町長 パトロールを強化し、業者への厳重注意で対応した。

公下水、農業集落排水事業 受益者分担金の不納欠損処理

澤田石 全員協議会や12月の

一般質問でも出されている。徴収努力はしているが欠損金

処理するに当たってなら進展のない答弁で終わり、他人事のようで「監督指示」責任者としてのモラルが欠けている。

町長 今回のことを踏まえ、徴収体制の強化を図り未納の減少に努めたい。

五城目幼稚園と五城 目保育園の一体化

澤田石 永年にわたった幼保

一元化問題の対応について。

町長 平成26年4月1日より「認定こども園サポート事業」を活用し所定の手続きを進めていきたい。



もりやま子供園

一般質問

3種予防ワクチン接種が恒久化

子宮頸がん・ヒブ（インフルエンザ菌b型）
小児用肺炎球菌



畑澤 洋子
（公明党）

畑澤 任意接種だった3種の
予防接種は、4月1日より定
期接種に変わる。公明党が一
貫して求めてきた事が実現し
た。当町では自己負担額、対
象年齢などどう変わるのか。

町長 子宮頸がん・ヒブ・小
児用肺炎球菌の接種費用につ
いて、平成23年2月の任意接
種開始当初より、自己負担な
しで実施してきた。接種率の
向上を図る観点から、引き続
き自己負担なしで実施する。
対象年齢は子宮頸がん（小学
6年から高校1年）、ヒブと小
児用肺炎球菌（生後2カ月か
ら7カ月）とし接種勧奨に努
めていく。

畑澤 対象年齢からはずれた
接種希望者に、負担金を一部
助成している自治体がある。
特に子宮頸がんワクチンは多
くの市町村で助成している。
当町でも助成できるようにし
てほしい。

通学路の安心・安全対策を

畑澤 集団登校中
の児童らが死傷し
た事故を教訓に、
通学路の安全対策
が進むことになっ
た。昨年末、文部
科学省、国土交通
省、警察庁合同の
緊急点検結果、対
策箇所図を公表し
た自治体が申請し
て初めて交付金が
支給される。当町
は2校20か所を報
告しているが対策
箇所図は公表され
ているか。20か所

をどのようにするか。
教育長 通学路緊急合同点検
結果は、保護者アンケートで
危険と思われる箇所を
あげていただき現地調
査した。五城目小管内
11か所、大川小管内9
か所。合計20か所を12
月25日公表した。今後
詳細を調査し可能な箇
所から整備していく。
畑澤 内川地区はスク
ールバス通学だが、冬
は道路幅が狭いうえ、
除雪の良し悪しで車の
交差が出来ず悪い環境
にあり事故多発地にも



事故が多発している通学路
県道 能代五城目線（内川地区）

体罰で人は育たない

教育長 体罰ととらえられる行為は
一切慎むよう指導

畑澤 大阪市立の高校でバス
ケット部主将が、体罰を苦に
自殺した問題を発端に体罰問
題が表面化している。スポー
ツ教育は単なる技術指導にと
どまらず、人間教育や人格形
成の大切な場である。体罰で

人は育たない。人を育てる観
点からスポーツ教育、部活動
が運営されるよう対策を講じ
る必要がある。
①体罰の禁止を徹底する
②教員研修の拡充
③閉鎖的環境を避けるため民

間コーチ、保護者会を活用
④資格制度の導入についてど
のように考えているか
教育長 全国の自治体で実態
調査を行ない、当町も3月4
日終えた。児童生徒から体罰
を受けたと2件の回答があり、
聞き取り調査の結果、文部科
学省で示す体罰にあたらな
いと判断した。体罰ととらえら
れるような行為は一切慎むよ
う指導した。

なっている。拡幅、側溝整備
など対応を県と協議してもら
いたい。

介護慰労金の増額と 福祉灯油を実施しよう！

一般質問

町長

慰労金は継続し、
灯油は県に要望していく。



灯油代は家計に負担



石川 交三
(日本共産党)

石川 他市町村が廃止する中、介護慰労金を継続し増額してきたことは評価できる。ただ家庭内の特に主婦が仕事を辞め、24時間の介護に献身的にがんばっている実態に照らせば更に増額すべきだ。福祉灯油は以前に実施したときよりも今年の冬は厳しく灯油も高くなっている。こういう時こそ実施すべきだ。

町長 慰労金は平成18年度から実施しており、22年度から月額5,000円を7,000円に増額している。今後も継続する。

福祉灯油は平成20年に県の「灯油購入費助成事業」の補助を受け「灯油引換券」を支給した。実施については県と共同で行なうべきで要望していきたい。

石川 県知事選挙は無競争の公算が大大だ。知事は選挙公約で高齢者支援・除排雪支援を掲げている。県が施策として打ち出した場合に即、対応するよう求めたい。

町長 県の動向を注視して対応していく。

湖東病院の医師確保と救急医療体制の構築を

石川 町民の誰もが救急医療の充実を求めている。救急車が湖東病院の前を素通りして秋田に向かう現状は一刻も早く改善しなければならない。医師確保は喫緊の課題だ。

町長 病院ホームページで6名の常勤医募集を常時行なっている。改築後の医師診療体制が整っている状況ではない。

町として更に県医師確保対策室、湖東病院、秋田県厚生連、秋田大学との連携を図って医師募集のPRを展開したい。千代田区を通した都内在住者への医師募集、ふるさと会や町広報を提供している県外の町出身者へのPRなど積極的に取り組みたい。



役場の窓口

町民の困りごと相談はどこか？

石川 以前は設置していたが職員の担当事務を見る限り今は担当が見当たらない。いったいどうなっているのか。各課との調整、社会福祉協議会や弁護士への橋渡し（コーディネート）役が必要だ。

町長 分担を明確にし窓口へ

の看板設置や広報により周知したい。

選挙結果の受け止めは？

石川 町長は今回の選挙で4,090票を獲得し当選した。全有権者数は9,281人であり、過半数の5,191人から支持を得られなかったことになる。どう受け止めているか。

町長 結果を真摯に受け止め、反省すべきは反省し、職員と共に「すべての町民の幸せを第一」に考えた町づくりに全力を傾注していく。

石川 3期目に向けての決意と抱負は？

町長 総合発展計画を柱に地域医療、企業立地・雇用対策、安心・安全対策、子ども・少子化対策、集落対策、定住対策を重点に推進していく。伝統や文化を活かし、対話と協働による「町民と共につくる町づくり」を推進する。

その他に
○し尿処理場の建設と広域処理について
質問しました。

一般質問

五城目小学校改築の スケジュールは

教育長 25年度に検討委員会を設立



佐藤 慶彦
(無会派)

佐藤 五城目小改築事業のスケジュールは。

教育長 平成25年度に町内小・中学校の校長、関係教職員、教育委員会担当者で「五城目小学校基本構想検討委員会」を設立。

学校関係者、学識経験者、町関係職員による「五城目小学校改築事業検討委員会」を設立し、構造や規模、建設場所の選定などの基本計画を策定する。

平成26年度上半期までに町長へ答申し、学校関係者、町関係職員による「五城目小学校改築事業プロジェクトチーム」を設立し、実施設計を平成26年度中に完成させる予定である。

佐藤 大川小の統廃合は。

教育長 大川小は標準学級数にすると複式3学級で推移していくことから学習環境とし



老朽化する公共建築物

では厳しい状況であり、五城目小に統合すべきものと捉えている。大川小の保護者や地域の皆様と25年度に協議し、大川小関係者と町双方の考えが一致した時点で統合を進めていく。

佐藤 中学校新入生に小学校の復習や予習などの春休み講座や放課後学習が必要では。

教育長 小学校卒業後の春休みに、小学校での学習を振り返り復習することは、中学校の授業へのスムーズな導入に非常に効果があるものと思われる。指導場所、指導体制、予算など必要な事項を調査し、実施にむけて検討していく。

どうする？ 老朽化する公共 建築物

佐藤 経過年数ごとの公共施設の棟数（20年未満・30年未満・40年未満・40年以上）の詳細は。

町長 現在、経過年数で管理したものではなく、把握していない。
佐藤 しっかりと把握すべきである。

町職員に関して

佐藤 職員採用試験の倍率は県や他の市町村と比べて適正か。募集の告知方法は現状で十分か。

町長 職員採用試験の倍率は、3ヶ年平均4・1倍であり全国の町村の倍率は、3ヶ年平均（H21・H23）で、7・8倍と当町の2倍弱である。採用試験に関して、今後は大学卒の試験を7月に早めて実施してみることや、平成20年度に実施した経験者採用（倍率31倍）を、今後職員の年齢構成を加味しながら、採用試験について検討していく。

佐藤 職員一人当たりの年給

与額平均（23年度）は町民や職員採用試験受験者に適正に認知されていないのではないか。

町長 職員一人当たりの年給与額平均は、平成23年度で54万8千200円であり、町ホームページに「五城目町の職員給与などの公表について」として掲載している。これは、毎年広報10月号に掲載の「町職員の給与の現状」を詳細に補填しているもので、町民及び受験者に適正に認知されていると判断している。

佐藤 広報掲載の「町職員の給与の現状」では分かりづらく改善が必要では。

総務課長 改善していくべきものと捉えている。

佐藤 消防署の電話対応について苦情が多い。教育は適切に行われているか。

町長 緊急を要する事案であり、今後、的確な電話対応を含め指導を徹底していく。

佐藤 消防職員の不足が背景にあり、条約定数まで増やすべきである。25年度は消防職員の採用試験は行うのか。

町長 25年度に救急車1台増車の予算計上しており、2台体制に向け人員に関して十分に検討していく。

あなたにかわって
聞きました

一般質問



館岡 隆
(新世紀クラブ)

何故消えた！

町長実績の朝市ふれあい館

五城目町らしさ 魅力を掘りおこす 具体的政策とは

館岡 選挙用リーフレットに些細な事を町長の実績として誇張して載せてあるが、朝市ふれあい館を載せていない。以前から指摘した通りこの事業は、クリーンではなかった。陣営で厚顔に実績とは流石に言えなかった。選挙戦で訴えた、五城目町らしさ、魅力の掘りおこしとは、どのような政策か。

町長 総合発展計画をすすめるための基本的な考え方である。

館岡 具体的な内容なく答弁として不適確である。

五城目町総合発展計画前期5ヶ年計画

館岡 「行財政分野」事業項目、財政計画、基本計画も全く白紙である。信頼される行財政運営のための職員の教育プログラム、職員研修、行政評価システムの構築などできるのか。

町長 財源の効率的な活用により平成28年度公債費比率を13%とし健全な財政運営に努める。



朝市ふれあい館

雇用・企業立地対策

館岡 2期8年間企業誘致を公約としてきたが、何一つ具体的な実績もない。責任も果たしていない。今期から「誘致」から「立地」と変更した。トップリーダーとして先頭に立って汗した姿は全くみえない。どんな企業を想定しているのか。必ず決める強い意志はあるか。

町長 やる気は十分にある。(財)日本立地センターに業務委託し県内企業の立地意向調査

し、3つの戦略を掲げ立地活動を進め今任期中に企業立地を目指す。

職員が町民に信頼される行政運営

館岡 選挙戦で訴えた、職員が町民に信頼される行政運営に努めるとは2期8年間で職員が町民に信頼されていないと感じたのか。トップ責任でないか。

町長 更に信頼されるように言うことです。

専決処分が多い

館岡 1月から3回除雪費を専決処分して1億3,000万円と大幅に増額している。その間一度も議会を開催していない。自治法101条第5項で前日でも告示し議会が開催できる。議会と当局は相互に牽制し合う「対立の原理」が基本である。当局と議会が近すぎて批判も監視も適正な政策判断もできなくなる。苦情対応は作業後の確認、検査体制の不十分による。金額からして土木建設事業並の対応すべきである。

町長 今後はできるだけ機会を設けて執行する。現場を調査して苦情のないようにする。

選挙結果

館岡 トップリーダーのあり方が焦点になったが勝利して誰に喜んでもらいたいか。

町長 自分に投票した方々です。

館岡 その場に座った瞬間から全町民から喜んでもらうと答えなければダメです。



湖東総合病院 完成予想図

湖東総合病院 待望の改築工事始まる

湖東総合病院の安全祈願祭が4月24日に行われ、改築工事が現病院の西側隣接地で始まる。新病院は鉄骨3階建て。来年3月完成、5月に開院する予定。1階に外来診療10科を置き、2階には入院病棟100床を整備し、入院患者の受け入れを再開する。医療機器購入費や現病院解体費などを含む総事業費は約29億6,000万円。

新病院の延べ床面積は7275平方メートルで現病院の7割程度。東側が正面となり駐車場は西側に100台分、東側に90台分整備する。

病床の内訳は一般病床56床、リハビリ病床44床は市内の病院で手術を受け回復期に入った地元患者を受け入れる。外来診療科は内科、消化器科、循環器科、小児科、整形外科、リハビリテーション科など10科の予定。建設費約16億7,000万円のうち、3割を県で、2割は五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村で負担。コンピューター断層撮影装置（CT）磁気共鳴画像装置（MRI）など医療機器購入費約4億8,000万円は県が助成する。

医師確保に目途がつき次第、救急救命医療が再開されると思われる。町では救急車を増車の予定であり湖東総合病院の改築によって、町民が待ち望んだ地域医療の充実が図られる。



陳情

採択

◆最低賃金の大幅引き上げと、中小零細企業支援の拡充を求める陳情書

秋田県春闘共闘懇談会

代表委員 中村 秀也

秋田県労働組合総連合

議長 佐々木 章

不採択

◆学校薬剤師報酬改善に関する陳情書

秋田県学校薬剤師会

会長 佐々木吉幸

秋田中央学校薬剤師会

会長 近藤 廣樹

継続審査

◆年金2・5%の削減中止を求める陳情

全日本年金者組合秋田県本部

湖東支部 支部長 土橋 茂

継続審査

◆消防署移転建設地誘致に係る陳情書

富津内地区町内会長会

会長 原田 行雄

意見書送付

五城目町議会が議決した意見書を各関係機関に提出しました。

最低賃金の大幅引き上げと、中小零細企業支援の拡充を求める意見書

提案理由

地域別最低賃金を大幅に引き上げることと、地域間格差を縮小させるための施策を進めること、並びに中小零細企業予算を増やし、中小零細業者の生活支援策を求める。

提出先

内閣総理大臣 安倍 晋三
厚生労働大臣 田村 憲久

議会議員 全員協議会

● 1月17日

協議案件

- (1) 秋田県市町村未来づくり協働プログラム「五城目プロジェクト」について
- (2) 馬場目小学校・馬場目保育園の利活用について
- (3) 五城目町新規雇用奨励金交付要綱（案）制定について
- (4) 消防本部庁舎建設について

報告案件

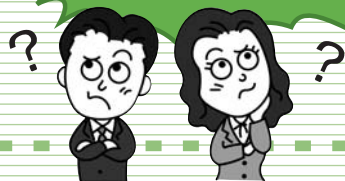
五城目第一中学校校舎屋根雪害復旧工事について



町内企業で働く社員



あれ



なんとなつたべが!

平成24年3月定例会一般質問より

問

独身男女の結婚促進を。

答

「出会い」のきっかけ作りが重要だ。町民と行政の協働により「出会いの場」創出に取り組んでいく。

現在

24年度より、新たな試みとして、町民有志による「出会い応援隊」に、本町の資源を活かした出合いイベントの開催を委託している。自然、野菜、山菜などを素材とした清潔感のあるイベントは町内外からの関心も高く、好評を博している。出会いの場提供と町の魅力発信により、成婚に至るカップルの台頭を期待している。



問

除雪対策で町有地・私有地の空き地を雪捨て場として活用しよう。

答

町有地は最優先で活用し、私有地も雪押し場所として借りている。空き地を最大限利用し、万全の除雪を行なっていく。

現在

町有の空き地は除雪機械で押すことが可能であれば、最優先で付近の方々に雪捨て場として開放している。私有の空き地も貴重な雪寄場所となるので、所有者の協力を得たところについて雪捨て場と



ろについて雪捨て場として活用させていただき、除雪作業の効率化と利便性を図っている。

問

ボランティアの育成を図ろう!

答

高齢者や乳幼児などに対する福祉ボランティアの必要性が高まっていることから、専門機関と連携を図り、公民館事業のカリキュラムに取り入れるなどして、ボランティアの育成を図る。

現在

各地区公民館で災害時の炊き出し体験や生活支援講習会を開催し、避難所などでのボランティア活動がスムーズに行なわれるよう取り組んでいる。

問

県道秋田八郎潟線の通行再開を。

答

北ノ又地区への観光ルートとして必要性は大きい。県では24年度中に崩落場所の復旧を行い、馬場目岳入り口まで通行できるとすると伺っている。

現在

秋田八郎潟線の山間部は国有林道との併用で、敷地は米代西部森林管理署となっている。崩落場所復旧は県が森林管理署と協議したところ、林道として使用する時以外は補修しない方針で、復旧のためには仁別までの全線を県道敷地として貸付を受け、今後すべて県道として管理していくことが条件であると提示を受けているとのこと。仁別側にも大規模崩落箇所があり、県では現段階で全線管理は不可能の回答である。



介護センター福寿荘

介護員 畠山

瑠衣さん
(鵜ノ木)



話はとても楽しく、孫のように声をかけてくれます。

● 大変なことは何ですか。

畠山

高齢者の皆様は夕方から夜中にかけて、急に具合が悪くなったりすることがあるので、病院受診の必要性を判断し、看護師さんや施設長に連絡する状況判断が大変難しいです。心配でおちつかない事もあります。

● 心に残る出会いは。

畠山

ご夫婦で入所中に名前前で呼びあう仲の良いお二人や、面会に来られた奥さんやご主人と涙ながらに喜びあう姿は心に残ります。

● 町政や議会にご意見は。

畠山

湖東病院が救急外来や入院を再開してくれるのが待ち遠しいです。近くに病院があつてこそ自信を持って働くことができます。

● 仕事はどうですか。

畠山

祖父母が大好きだったので、入所者の皆様との会

がんばってます



五一中3年
野球部主将
小玉 健斗さん
(希望ヶ丘)

私たち野球部は全県大会出場を目標に日々の練習に取り組んでいます。その目標を達成するために冬の厳しい練習にもひたすら耐えてきました。冬は主にハウスでの筋トレや走り込み、素振りなどの基礎トレーニングを中心に練習してきました。

うこともあるのですが、そういう時こそ全員で声を掛け合い「徹底」して練習に取り組むよう努力してきました。また、練習試合をするようになってきて、自分たちの課題が明確になってきました。

応援してくださる町民の方々への感謝の気持ち、そして野球部は学校の顔だということを実感して行動して、生活態度も学校全体の見本になれるよう努力していきたいと思っています。

4月に入り、グラウンドの雪が解け、ボールが使えるようになるとみんな生き生きとして、とても充実したい練習をするようになってきました。しかし、たまに練習が緩くなってしまう

五城目第一中学校は、悔しいことに過去20年以上に渡り、全県大会出場を逃しています。私たちが平成で初の全県大会出場を成し遂げ、優勝旗を持って帰って来ます。

町民のみなさん応援よろしくお願いします。

(取材：佐藤慶彦)

編集

後記



春が深まりいよいよ山菜の時期、長い冬を乗り越えようやく春の味を味わえる季節。山菜の苦味は、冬の体を春の体に変えてくれる苦味、自分で採った山菜を肴に地酒で晩酌、最高の季節。

3月末に厚労省から2040年の全国人口推計が発表された。秋田県の人口は70万人を割り、我が五城目町は5,000人を割ると推計された。高齢化率も秋田県が全国トップである。今後は福祉介護が重要な課題となることは必至である。

昨年還暦を迎えた私だが、五城目の中ではまだまだ青二才。老人クラブの青年部として生きがい・やりがいを求めて活動したい。

議会広報委員になってからようやく一年、先輩の指導を得て編集してきたが、そろそろ一人立ちしなければならぬ。町民に分かり易い広報をめざし広報委員一丸となり頑張っています。

齋藤 晋記